

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

3-17

3-17

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理	取組項目	地域における景観形成
節		事業主体	佐渡市建設課
事業(施策)名	17 市民を対象とした良好な景観に関する啓発活動	関連団体	県都市政策課、佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○ 景観保全に関する市民の理解促進により、地域における良好な景観形成を図る。	
	【事業内容】	○ 地域における良好な景観形成に向けて、地域が協働し、主体的・継続的に取り組むことができるよう啓発活動を行う。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	● 市民が景観づくりの主体として認識し、自らが良好な景観づくりに努めることができるよう、良好な景観づくりの手法などを情報発信するとともに協力を依頼する。	
	【R2年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ● 冊子「佐渡金銀山の保護のしくみ」をきりぎりす内に設置し、また、建設課、世界遺産推進課の窓口へ相談に来た方へ配布した。 ● 周知ちらし「おねがい 保護にご協力ください」をきりぎりすの窓口へ相談に来た方へ配布した。 ● 各種届出・申請の漏れを防ぐため、世界遺産推進課、環境対策課、県佐渡地域振興局地域整備部建築課と連携し、届出・申請確認リストを作成した。建築士会、建築組合、建設業労働災害防止協会、解体業者(市内登録業者)へ周知し、各課の窓口へ相談に来た方へも配布した。 	
課題・今後の取組	【課題】	■ 地域住民が協働して、主体的・継続的に景観づくりに取り組むことを促す啓発活動について検討が必要である。	
	【今後の取組】	■ 地域住民と行政の相互理解を図り、住民が参加しやすい環境づくりや手法の考案に取り組む。	
事業評価	【事業の達成度】	◇周知を行い、市民の理解促進を図ったことで、一定の成果が得られた。	
	【事業実施の効果】	[a・b・c]	
	【総合評価】	[A・B・C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。